

刊行にあたって

アライナー型矯正装置を用いた矯正治療（アライナー矯正）は、患者はもちろんのこと、歯科医師に対しても多くのメリットを有する矯正治療法であることから、わが国ではその需要が急成長しています。世界的に見てもその普及率は世界第5位にあるとされており、今後もますますの需要増が期待されています。

その一方で、アライナー矯正に関するクレームやトラブルなどが増えているのも事実で、その対応に苦慮している歯科医師も多いというのが現状ではないでしょうか。

アライナー型矯正装置（アライナー）は、インターネットやSNSなどを通じた一部の情報にあるような万能の矯正装置ではなく、メリットが多い反面その特性を熟知し、適応症例の選択や施術方法を研鑽する必要がある治療方法です。あくまでも矯正装置の一つとして、慎重に日常臨床に応用することが重要だと思います。

国内外を問わず参入メーカーが増加し、それぞれに特徴のあるアライナーが群雄割拠しています。多くの研究データや症例報告なども増え、それぞれの装置の特徴を熟知し、症例に見合った選択も必要となってきています。

2019年に月刊デンタルダイヤモンド増刊号『正しく使おう！ アライナー型矯正装置』が発刊されてから5年の歳月が経過し、さまざまな点でこの分野はアップデートされています。

本増刊号は、基本に立ち返った検査・診断に始まり、症例の選択や基本手技、リカバリー方法など、それぞれの臨床レベルに応じて参考にしやすいように編集いたしました。

患者に対し、安心安全にアライナー矯正を提供できるよう、スキルアップと日々の臨床のアップデートにお役立ていただければ幸いです。

2024年3月
編集委員一同

注 記

本増刊号では、以下の学術用語について、理解しやすさを重視し、読者にとって馴染みのある表記に統一しております。

- ・「アライナー型矯正装置」→「アライナー」
- ・「アライナー型矯正装置を用いた矯正治療」→「アライナー矯正」